

(別紙)

# 令和5年度障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 福井県

## 【基本情報】

フリガナ	シャカイクワシホウジンサカイシャカイクワシキョウキカイ
法人名	社会福祉法人坂井市社会福祉協議会
フリガナ	サカイシャカイクワシキョウキカイクワシキョウキカイ
事業所名	坂井市社会福祉協議会特定相談支援事業所
提供サービス (複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)	
計画相談支援	
職員数 (常勤換算数) 【「全職員の月間勤務時間数」÷「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出 (産休・育休、休職は除く)】	

(1) ICT機器等導入前の定量的指標及びICT機器等導入後の定量的指標

### ① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D÷業務従事者数)
		A. ひと月当たり発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)			
計画、アセスメント等に関すること	4人	30件	360件	180分	1,080時間	270時間
モニタリング報告に関すること	4人	15件	180件	100分	300時間	75時間
情報共有に関すること	5人	25件	300件	15分	75時間	15時間
		70件	840件	295分	1,455時間	360時間

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

- ①計画、アセスメント等に関すること (30件) = 新規計画 (5件) + アセスメント (25件)
- ②モニタリング報告に関すること (15件) = モニタリング (15件)
- ③情報共有に関すること (25件) = 相談員間の情報共有 (25件)

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

- ①計画、アセスメント等に関すること (180分) = 計画策定 (100分) + アセスメント (80分)
- ②モニタリング報告に関すること (100分) = モニタリング (100分)
- ③情報共有に関すること (15分) = 相談員間の情報共有 (15分)

### ② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D÷業務従事者数)
		A. ひと月当たり発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)			
計画、アセスメント等に関すること	4人	30件	360件	100分	600時間	150時間
モニタリング報告に関すること	4人	15件	180件	60分	180時間	45時間
情報共有に関すること	5人	25件	300件	10分	50時間	10時間
		70件	840件	170分	830時間	205時間

以下の※3及び※4については、ICT機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

- ①計画、アセスメント等に関すること (30件) = 新規計画 (5件) + アセスメント (25件)
- ②モニタリング報告に関すること (15件) = モニタリング (15件)
- ③情報共有に関すること (25件) = 相談員間の情報共有 (25件)

※見込み

<※4>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

- ①計画、アセスメント等に関すること (100分) = 計画策定 (60分) + アセスメント (40分)
- ②モニタリング報告に関すること (60分) = モニタリング (60分)
- ③情報共有に関すること (10分) = 相談員間の情報共有 (10分)

年間業務時間数削減率 (%)

43.0%

※作成文書量は該当する文書がある場合に限り入力すること。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
計画、アセスメント等に関すること	240 ページ	2,880 ページ
モニタリング報告に関すること	30 ページ	360 ページ
情報共有に関すること	10 ページ	120 ページ
	280 ページ	3,360 ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
計画、アセスメント等に関すること	200 ページ	2,400 ページ
モニタリング報告に関すること	20 ページ	240 ページ
情報共有に関すること	5 ページ	60 ページ
	225 ページ	2,700 ページ

年間作成文書量削減率 (%)

19.6%

(2) 削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(3) ICT機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

○得られた気づき

- ・情報共有の効率化、移動時間の減少
- ・職場環境の改善による職員の負担軽減や離職率の抑制

○今後の課題

- ・ICT機器に苦手意識のある職員への定着化

(4) 費用面での効果 (ICT機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ICT機器等の導入による費用の縮減	有
-------------------	---

ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額 (円)	0円
職員の質上げ等への充当	無
その他職場環境の改善への充当 (※1)	有
サービスの質の向上に係る取組への充当 (※2)	有

(※1) その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

<ul style="list-style-type: none"><li>・移動時間を削減できた</li><li>・業務時間を削減することができた</li><li>・資料のデータ化により管理を円滑にすることができた</li></ul>
--

(※2) サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

<ul style="list-style-type: none"><li>・会話など利用者とのコミュニケーションの機会が増加した</li></ul>
---